

令和6年度 第3回鴨川市子ども・子育て会議

日 時 令和7年1月14日（火） 午後3時
場 所 鴨川市総合保健福祉会館 2階研修室

【出席者】

宮崎委員、立野委員、石井委員、川名委員、伊東委員、行沢委員、桎谷委員、関口委員

鴨川市： 鈴木市民福祉部長

学校教育課： 鈴木課長

西条認定こども園： 鎌田園長

子ども支援課： 嶋津課長、刈込課長補佐、鈴木課長補佐（子ども家庭センター長）、
濱野子ども支援係長、田村主査、橋本保健師

株式会社ぎょうせい： 堀内主任研究員

【欠席者】

楠委員、濱田委員

【傍聴者】

なし

<次 第>

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議 件

(1) 鴨川市こども計画（第3期鴨川市子ども・子育て支援事業計画等）（素案）
について

(2) その他

- 4 その他
- 5 閉 会

1 開 会

※会議の進め方の説明

※会議が成立した旨の報告

※会議の開会宣言

2 挨 拶【鈴木市民福祉部長】

皆さん、こんにちは。市民福祉部 部長の鈴木でございます。

本日は、大変お忙しい中、令和6年度第3回子ども・子育て会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より子ども支援課の業務に対しまして、ご理解ご協力をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、委員皆様からご意見を頂戴し実施いたしました保護者向けニーズ調査及び小学5年生及び中学2年生へのアンケート調査を実施して参りました。これまでの調査を踏まえ、本日は第3期計画の素案をお示しさせていただくことを予定しております。

委員みなさまの忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げて、本会議開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 議 件 議長 立野会長

会長が議長として進行

会議録署名人として、関口委員を指名

(1) 鴨川市こども計画（第3期鴨川市子ども・子育て支援事業計画等）（素案）について

（事務局及び株式会社ぎょうせいから、資料1に即して説明）

伊東委員

見込み量の計算方法について教えてください。

株式会社ぎょうせい

推計児童を1歳ごと、年度ごとから国の計算シートに当てはめて計算します。また、アンケートから得られた正規雇用や非正規雇用など家庭の就業形態から保育ニーズ、教育ニーズなどを推測している。

伊東委員

病児保育の過不足0について、受け皿が不足していると感じているが、これも計算式から導き出されるのですか。

株式会社ぎょうせい

1日当たりの定員と実績から計算しているが、年間のうち冬期には、感染症等により定員を超えるニーズとなる期間もあると思うが、そこまでは反映させていません。

伊東委員

PDCA サイクルについて、目標が数値化されないと評価が難しいのではないですか。

株式会社ぎょうせい

目標値の設定については、こども計画には不要と考えます。見込み量と確保方策から検証を行うこととなります。また、計画の評価は、次期計画に向けては行うこととなり、こども計画においては、PDCA サイクルとして成り立つと考えます。

立野議長

学童保育については、7 か所となっている。6 か所、7 単位と思っていますが。

事務局

現計画も7 か所となっているため、表記を現計画に合わせました。

(2) その他

事務局から、年度末までのスケジュールについて説明。

4 その他

なし

5 閉 会

本会議の内容を確認したので署名する。

令和7年1月20日

会議録署名人 関口 和則